

10 / 6 (日)

午後1時30分～3時

新潮社記念文学館 (仙北市角館町)

定員50名 (申込順 電話又はファックスで)

* 入場無料 (別途観覧料必要 仙北市民無料)

矢来町に歴史を重ねる「新潮社」。

義亮に始まる佐藤家が、代々守り続けた貴重な

資料をご紹介する展覧会の、編集委員である中島

国彦氏が、近代文学の背景と文豪たちの残した

自筆資料の魅力について語ります。

中島国彦氏 プロフィール

早稲田大学名誉教授・日本近代文学館専務理事
一九四六年東京生まれ。早稲田大学大学院文学
研究科博士課程修了。博士(文学)。早稲田大学
文学部教授・文学学術院教授を経て、現職。
文学と美術・音楽との関わり、作品を生み出す
地理的背景などに深い関心を持つ。
著書に、『近代文学にみる感受性』(筑摩書房、
やまなし文学賞)、『夏目漱石の手紙』(共著、
大修館書店)、編著に『新潮日本文学アルバム
永井荷風』、『漱石の愛した絵はがき』(共著、
岩波書店)などがある。岩波書店版『白秋全集
集』『荷風全集』編集委員。

記念講演

巡回展 「矢来町のたからもの」佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」 特別企画

編集委員 中島国彦氏がひも解く

「矢来町のたからもの」その魅力

会場・申し込み：新潮社記念文学館

(秋田県仙北市角館町田町上丁23 仙北市総合情報センター内)

TEL 0187-43-3333 FAX 0187-53-2701